## 昭和薬科大学 2024 年度 実務実習に関する連絡会

## 第 I 期 実務実習関連スケジュール

月	日		大学担当	当教員訪問
2024年2月	19日(月)	I 期実務実習 開始	3月初旬	教員訪問 1回目(※)
3 月	23 日(土)予定	I 期学生 大学にて中間報告会・面談 (実習生・大学教員のみ)		
5 月	5日(日)	I 期実務実習 終了	4月下旬	教員訪問 2回目(※)
5 月	13日(月)	「総括評価シート」「出欠表」送付期限		

## 第Ⅱ期

月	日		大学担当	当教員訪問
5 月	20日(月)	Ⅲ期実務実習 開始	6月初旬	教員訪問 1 回目 (※)
6 月	22 日(土)予定	Ⅱ期学生 大学にて中間報告会・面談 (実習生・大学教員のみ)		
8 月	4日(日)	Ⅲ期実務実習 終了	7月下旬	教員訪問 2回目(※)
8月	19日(月)	「総括評価シート」「出欠表」送付期限		

## 第Ⅲ期

月	日		大学担当	当教員訪問
8 月	19日(月)	Ⅲ期実務実習 開始	9月初旬	教員訪問 1回目(※)
9 月	21 日(土)予定	Ⅲ期学生 大学にて中間報告会・面談 (実習生・大学教員のみ)		
11 月	3日(日)	Ⅲ期実務実習 終了	10 月 下旬	教員訪問 2回目(※)
11 月	11日(月)	「総括評価シート」「出欠表」送付期限		

## 第Ⅳ期

月	日		大学担当	当教員訪問
11 月	18日(月)	Ⅳ期実務実習 開始	12 月 初旬	教員訪問 1回目(※)
12 月	21 日(土)予定	IV期学生 大学にて中間報告会・面談 (実習生・大学教員のみ)		
2025年2月	9日(日)	Ⅳ期実務実習 終了	1 月 下旬	教員訪問 2回目(※)
2 月	17日(月)	「総括評価シート」「出欠表」送付期限		

2025年2月	実務実習成果報告会 (ポスター発表) 指導薬剤師の先生方をお呼びする予定です。	
	14 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	

### 大学からの連絡手段について

- 実務実習に関するご案内・各種連絡は、富士フイルム実務実習指導・管理システム (Web System) のメッセージ機能および事前登録いただいたメールアドレス宛に配信いたします。
  - \* \* \* 大学からのメッセージ(メール)のご確認をお願いいたします \* \* \*
- 本学ホームページに、実務実習委員会のサイトをオープンいたしました。今後、実務実習に関するご案内、また、実務実習評価に使用する「評価シート」等、資料の掲載などいたします。

URL <a href="https://www.shoyaku.ac.jp/research/laboratory/jitumu/top">https://www.shoyaku.ac.jp/research/laboratory/jitumu/top</a>

「お知らせ・トピックス」一覧をご覧下さい。

#### 1. 評価方法について

- ① 富士フイルム Web System による運用
- ・到達度評価の入力 定期的(2~4週毎を目安)に、概略評価表を基に「責任ある主観的な評価」の入力をお願いします。
- ・本学では実習生のトップ画面にある「実習終了時の評価」は不要です。その代わりに、下記②の 対応をお願い致します。
- ② 本学独自の総括的評価(紙面による運用)

評価シートは、本学ホームページに掲載しています。お手数ですが印刷の上、評価をお願いいたします。 <a href="https://www.shoyaku.ac.jp/research/laboratory/jitumu/info/2024">https://www.shoyaku.ac.jp/research/laboratory/jitumu/info/2024</a>

上記 URL 等は、各期の開始および終了時に事前登録いただいたメールアドレス宛にも配信いたします。

## 2. 実習終了後、大学へ郵送していただくもの

実習終了後は、以下の書類を**期限までに大学へ郵送**くださいますようお願い申し上げます。 なお、返信用の封筒は、本学の訪問担当教員が訪問時に持参いたします。

## 郵送期限: Ⅰ期 5/13、Ⅱ期 8/19、Ⅲ期 11/11、Ⅳ期 2/17

□総括評価シート 1枚	上記②の本学独自の評価シート ホームページより印刷、評価・記名・押印したもの
□出欠表 1 枚	Web System の「出欠表」を印刷、確認印を押印したもの ※印刷方法が不明な場合、富士フイルムシステムサービス 実務実 習指導・管理システムのコールセンター「0120-557-412」にお電話 いただき、「出欠表」の印刷方法についてお問い合わせください。

### 3. 学生へ返却する書類

□健康診断書 □本学宛の誓約写し(病院のみ)	年度初めに郵送したもの
---------------------------	-------------

\* 学生に返却するのを忘れてしまった場合は、総括評価シート・出欠表と一緒に大学へ郵送してください。

#### 4. 台風、大雪などへの対応について

台風や雪などは地域によっても状況は様々かと思います。その為、指導薬剤師の先生方のご判断 (休み、早退など)で学生に指示をお願いします。学生には、その旨を大学に連絡するように伝え てあります。

また、大型の台風や大雪などにより、交通網に大きな影響が予想される場合には、大学としての対応を前日の17時までに決定し、指導薬剤師、学生、担当教員へ一斉メールを送信する場合があります。その場合でも、影響が少ない地域では、指導薬剤師のご判断で実習を行うことも可能です。

### 5. 地震・災害時の対応について

原則/学生は、指導薬剤師の先生の指示に従って行動するよう指導しています。

### 6. 指導薬剤師の勧めによる、実務実習中の研修会などへの参加について

指導薬剤師の先生の勧めによる、実務実習中の研修会等への参加に関しては、次の申し合わせ事項を守って行動するよう指導しています。

#### 病院・薬局実務実習中の研修会等への参加について (申し合わせ事項)

- 1. 実習期間中に、指導薬剤師の勧めにより正規実習施設以外での研修ならびに時間外の見学・勉強会に参加する場合も、大学としては正規の実習と認める。
- 2. 前項に挙げた研修などに参加した際の事故等(研修先等への移動中の事故も含む)の補償については 通常と同じ扱いとする。なお、移動にかかる交通手段は公共交通機関(電車・バス)の利用を原則とす が、指導薬剤師が必要と判断した場合は自家用車を利用することを認める。 但し、学生教育研究災害傷害保険(略称「学研災」)の担保要件として『合理的な経路中』での事故となっ いるため、それ以外の事故は適用外となる場合がある。
- 3. 実習期間中に、製薬会社等主催の医薬品の説明会(講習会)に自主的に参加する場合、薬局・病院の指導薬剤師が了解している場合に限り、食事が供与される説明会等への参加を許可する。 但し、アルコール等を伴う懇親会等への参加は禁止する。

以上

### 7. 実習中の学生の就職活動

#### ≪大原則≫

実習期間内の実習時間内の就職活動は原則禁止です。

ただし、就職内定に直結する試験や面接の場合に限り、許可されることがあります。

#### 【実習日以外に就職活動を行う場合】

- 1) 担当教員に相談し、許可を得る。
- 2) 病院・薬局の指導薬剤師に許可を得る。

#### 【実習日に就職活動を行う場合】

- 1) 実習日に就職活動を行う場合、企業等に学生が直接電話し、面接日等の変更をお願いする。(実習が行われない休日、平日の夕方5時以降)
- 2) 変更ができない場合は担当教員に連絡し、相手先の人事担当者の職名・氏名・企業名・連絡先電話番号などを伝える。
- 3) 担当教員から臨床薬学教育研究センターの施設担当教員に連絡し、相手先の人事担当者の職名・ 氏名・企業名・連絡先電話番号などを伝える。
- 4) センター教員は再度企業に連絡して変更をお願いする。
- 5)変更できない場合は、次の手続きを踏んだうえで、病院・薬局実務実習を休むことを許可する。
  - ①指導薬剤師に報告し、欠席と受験の許可を得る。
  - ②相手先企業の指定日で受験する。当日は、「欠席届」を持参し、欠席事由の就職試験に〇を付け、 企業の担当者に記入・押印をお願いする。
  - ③後日、担当教員を経て、欠席届(大学書式)を大学に提出する。

#### 【本学へのお問合わせ先】

実習内容、スケジュール、書類関係などのご質問につきましては、以下にお問合わせください。

臨床薬学教育研究センター長 実務実習委員長 教授 廣原 正宜	TEL&FAX 042-721-1525 E-mail: jitsumu@ac.shoyaku.ac.jp
臨床薬学教育研究センター 事務室 東・佐々木	TEL 042-721-1403 月~金 9:00-17:00 (8 月は16:00まで) E-mail: <u>iryou1@ad.shoyaku.ac.jp</u>

## 【富士フイルム Web System に関する お問合わせ先】

Web System(実務実習指導・管理システム)に関する操作、ID パスワードの紛失などに関しては、以下のサポートセンターにお問合わせください。

 実務実習システム事務局
 (富士フイルムシステムサービス株式会社)
 E-mail: yakka-help@ph-practice.jp

## 富士フイルム Web System にてご対応いただきたいこと

昭和薬科大学 臨床薬学教育研究センター

### 【実務実習開始前にご対応いただきたい事項】

### 1. 指導薬剤師の新規登録

※実務実習指導・管理システム 操作マニュアル<第6版>(指導薬剤師向け) P.41~44 参照 ※操作マニュアルは、ログイン後、画面一番下の「こちら」をクリック

● 大学側からは各ご施設の管理ユーザー様に対してのみ ID とパスワードを配布しております。 必要に応じて、ご施設に所属されている指導薬剤師を操作マニュアルに従い、ご登録ください。

## 2. 指導薬剤師と実習生の紐付け登録

※実務実習指導・管理システム 操作マニュアル<第6版>(指導薬剤師向け) P.48~51 参照

▶ 上記【1.薬剤師の新規登録】にて、新しく登録された薬剤師は実習生との紐付け登録を行わなければ、日誌のコメントや到達度評価ができません。忘れずに紐付け登録を行ってください。

### 3. 実務実習実施計画書の入力

※実務実習指導·管理システム 操作マニュアル〈第6版〉(指導薬剤師向け) P.30~34 参照

- 実務実習実施計画書のうち、【(1)実習生に関する情報~(7)大学、実習生から実習施設への要望】については大学側で記載しております。内容をご確認ください。
- 【(8)実習情報(実習施設から提供された情報)】につきまして必要事項をご記入ください。
  - ※「実習施設での具体的な実習内容とスケジュール(予定)」に関しましては、テキストでの記載が難しい場合、下記「4. スケジュールの入力」に従い、スケジュールをご入力していただければ構いません。
- ご施設で作成されている実務実習実施計画書がありましたら電子ファイル (Excel, PDF) を添付していただいても構いません。

#### 4. スケジュールの入力

※実務実習指導・管理システム 操作マニュアル〈第6版〉(指導薬剤師向け) P.32 参照

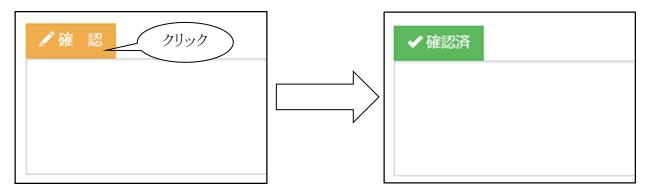
- 実務実習実施計画書の内に【薬局 実習スケジュール】及び【病院 実習スケジュール】が含まれておりますので入力をお願いします。
- ご施設で作成されているスケジュール表がありましたら電子ファイル(Excel, PDF)を添付していただいても構いません。

### 【実務実習中・実務実習終了後にご対応いただきたい事項】

### 1. 実習日誌 ・ 一週間振り返り ・ 実習全体の振り返り の確認・コメント登録

※実務実習指導・管理システム 操作マニュアル<第6版>(指導薬剤師向け) P.20~24、P.37~38 参照

- 学生が記載した実習日誌等の確認をお願いいたします。確認していただきましたら【確認】ボタン をクリックしていただき、Web 上で確認をした旨がわかるようにしてください。
- 学生の励みにもなりますのでコメントを入力していただけましたら幸いです。



#### 2. 到達度評価の登録

※実務実習指導·管理システム 操作マニュアル<第6版>(指導薬剤師向け) P.25~27 参照

- 指導薬剤師と実習生、双方で定期的(2~4週間毎を目安)に行ってください。
- 通常の設定では、指導薬剤師の評価については学生側からも閲覧が可能です。双方の概略評価表を 基に評価・面談等を行ってください。

※「実習終了時の評価」については、Web System上ではなく、本学独自の総括的評価(紙面による 運用)を行っております。評価シートは、本学ホームページに掲載しています。お手数ですが印刷 の上、評価をお願いいたします。

https://www.shoyaku.ac.jp/research/laboratory/jitumu/info/2024

実習終了後は、上記「総括評価シート」と「出欠表」を印刷、確認印を押印の上、大学へ郵送 <u>願います。</u>

### 連絡先

#### 【Web System に関する お問合わせ先】

Web System(実務実習指導・管理システム)に関する操作、ID パスワードの紛失などに関しては、以下のサ ポートセンターにお問合わせください。

TEL

実務実習システム事務局 (富士フイルムシステムサービス株式会社)

0120-557-412 月~金 10:00-17:00

E-mail: yakka-help@ph-practice.jp

#### 2024年度 昭和薬科大学における 実務実習ガイドラインに基づいた基本方針



昭和薬科大学 実務実習委員会 廣原正宜 渡部一宏

\*平成29年8月27日 方路を見直した試行的実習実施のための説明会資料を一部抜粋・再編しています。

#### 薬学実務実習の在り方・目標

#### 参加・体験型の臨床実習の充実

- 実務実習では、実践的な臨床対応能力を身につける 参加・体験型学習を行う。
- 講義で教えられることは大学で行い、**医療現場でしか学べない内容** を実習で体験しながら身につける。
- 臨床現場で幅広く**事例や症例を体験**して、 薬剤師業務の意義・役割を理解する。

#### 病院・薬局が連携した一貫性のある実習

○ 大学が主導的橋渡的な役割をし、病院・薬局間での 一賃性のある学習効果の高い実習を行う。

実務実習の枠組み (一貫性のある薬局・病院実習の実施)

効果的な実習の枠組みとして4期制で割り振り



2024年度 昭和薬科大学5年生在籍予定(237名)

	I期	II期	III期	Ⅳ期
薬局	78	77	8 2	
病院		78	77	8 2

#### コアカリ改訂(令和4年度版)に伴う 「臨床における実務実習に関するガイドライン」が制定

- ・ 令和6年度入学生からのコアカリ改訂(令和4年度版)の基本方針に「臨床薬学」が追加され、さらに学修効果の高い実習を行うよう努めると記載した。それに伴い、令和5年12月に従来の実務実習に関するガイドラインを改定し「臨床における実務実習に関するガイドライン(令和4年度改訂コアカリ対応版)」として文科省・薬学教育協議会から発表された。
- ・ 令和10年度の臨床実習からはこのガイドラインに則る

文部科学省ホームページ 薬学教育モデル・コア・カリキュラム\_令和4年度改訂版 掲載URL: https://www.mext.go.jp/a menu/01 d/08091815.htm

#### 「臨床における実務実習に関するガイドライン」 の目的・実務実習の目標

・ガイドラインの目的:実務実習は、薬剤師教育の中で、学生が、唯一医療現場において継続して患者・生活者から深く学ぶ機会となる。実習を行う病院・薬局が、大学とは異なる医療提供施設であることに鑑み、大学は実習施設の置かれた環境、ニーズ、目的の多様性を尊重する必要がある。そのため、学修内容に混乱や格差が生じないよう実習施設と大学との連携、実習内容の一定の水準の確保は重要であり、適正な実務実習が実施されることを目的このガイドラインが策定された

・実務実習の目標:単に薬剤師業務ができるようになることではなく、医療人として、 実際の医療現場で患者・生活者を担当し、薬物治療の個別最適化の経験を積むことによって、薬物治療における薬剤師の役割を理解し、薬の専門職として医療現場で適切な判断・対応ができる臨床能力を修得することである。そのためには、学生自身が自ら何のために患者・生活者を担当し、事例を経験しているのかその意義を考え、自主的にその経験を振り返り、省察を行うことが必要である。

文科省・薬学教育協議会「臨床における実務実習に関するガイドライン」より抜粋

#### モデルコアカリキュラム「F 臨床薬学」における 実務実習の役割・目標



文科省・薬学教育協議会「臨床における実務実習に関するガイドライン」より抜粋

5

### ☆患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院で活躍することができるために、基本的な薬物療法及び地域保健医療に参画する実践的能力を修得する ☆代表的な8疾患(がん、高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫アレルギー疾患、感染症)を薬局実習を通じ、体験として学ぶ

実習項目	実習内容	期間	評価
	○医療人としての心構えを理解する		
<b>ム</b> アの宇羽は日本井澤東は	○地域保健医療における薬局の役割を体験し、理解する(健康サポート機能、かかりつけ薬局)	全期間	u <b>→</b> `u
全ての実習項目で共通事項	○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる	を通じ	ルーブリック評価
	○医療安全管理(リスクマネジメント)を理解する		
# C + V + T	○薬局の構造設備、薬局における関連法規及び業務の流れを理解する	4 \@88	ルーブリック評価
薬局実習導入	○各種保険算定要件や医薬品の供給と管理について理解する	1週間	
保険調剤と薬局製剤	○保険調剤業務		
	・処方受付から監査・調剤、疑義照会、患者応対までの保険調剤を体験する	O 4)(F)(F)	ルーブリック評価
内服、外用、*注射(TPN)、製剤	・各種保険算定要件や医薬品の供給と管理について具体的に体験する	3 -4週間	
	○薬局製剤について製剤体験及び販売を行う		
薬学的管理指導業務の実践	○疾患と薬物療法		
(薬物治療支援業務実践)	・代表的な疾患(がん、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、感染症等)について、患者の病態生理、薬物治療方針を理解する		
	○患者情報の把握		
	・処方せん調剤、在宅医療、要指導医薬品・一般用医薬品販売などにおいて患者や来局者個々の情報を的確に収集・整理し、薬物療法全般に活かす体験をする		
*代表的な8疾患のうち、最低 3疾患以上	・問診や得られる検査値等から患者の状態を把握し適切な薬物的管理を考察する		
	・服薬情報の一元的な把握とそれに基づく薬学的管理・指導を体験する		
学べる環境を整える。ただし、主疾患でな	○医薬品関連情報の活用(情報の収集、吟味、加工)		
くてもよい。がんについては病院実習で学 ぶことも可能	・施設での医薬品関連情報の情報源と収集方法を理解し、実際の患者、来局者、施設スタッフに適切な医薬品情報を作成して提供する		薬物療法の実践に関わ る項目
*在宅医療及びプライマリ・ケア、セルフ		5.5-6.5	⇒ルーブリック評価
メディケーション実習はこの一環として実	○処方設計と薬物療法の実践	週間	
施する	・患者の薬物治療に継続的に関わり、患者の病態を推察し、より有効で安全な薬物療法について考察したり、必要があれば処方医に提案する。さらに、患者アドヒア		在宅・プライマリ・ケ
	ランスに関する問題を発見し解決策の提案を実践する。また、患者背景、病態、治療薬、治療法に関する情報等を基に、薬物治療を考察し、その治療効果及び副作用		アに関わる項目
*地域におけるチーム医療はこの一環とし	のモニターと評価を体験する		⇒実習日報
て実施する	○在宅医療と地域における連携医療		
*必要に応じて薬剤師の視点から医師、看	・薬局薬剤師による在宅医療、居宅介護の支援業務を患者宅、施設等への訪問も含め継続的に体験する		
	・処方せん調剤における医療機関と薬局との連携(薬薬連携)や地域包括ケアや保健所等を通して地域で連携を体験する		
までを行う	○プライマリケア、セルフメディケーションの実践		
	・実際の店頭での来局者の健康相談を体験し、指導薬剤師と一緒に来局者個々の症状や生活習慣、環境などから受診勧奨(トリアージ)や要指導医薬品・一般用医薬		
	品販売などの対応を体験する		
	○学校薬剤師を体験する		
地域保健・衛生への参画	○災害医療を理解する	0.5週間	実習日報
	○地域における保健衛生活動(薬物乱用防止活動、禁煙活動、健康相談、認知症サポートなど)を体験する		

☆患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院で活躍することができるために、基本的な薬物療法及びチーム医療に参画する実践的能力を修得する ☆代表的な8疾患(がん、高血圧、糖尿病、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、免疫アレルギー疾患、感染症)を病院実習を通じ、体験として学ぶ

実習内容	期間	評価
○医療人としての心構えを理解する		
○医療機関におけるチーム医療の役割を体験し、理解する	全期間	
○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる	を通じ	ルーブリック評価
○医療安全管理 (リスクマネジメント) を理解する		
○病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する	0.5	
○入院から退院に至るまで入院患者との医療の関わりを理解する		ルーブリック評価
○医薬品の供給管理を理解する	旭间	
○内服/外用薬調剤		
・処方監査から計数及び計量調剤を体験する なかでも、処方監査、疑義照会、外来の場合は患者応対・服薬説明を重点的に行う		
○注射薬調剤		
	週間	ルーブリック評価
······	0.5	
○ 週別は広楽品の代記と目注を実践する		ルーブリック評価
病院内の多様な医療チームの活動に薬剤師の立場で参加し、医師、看護師、その他メディカルスタッフと連携・協力し患者の治療目標や治療法を考え、治療に積極	旭山	
的に参加する		
○疾患と薬物療法		
・代表的な疾患(がん、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、感染症等)について、患者の病態生理、薬物治療方針を理解する		
○患者情報の把握		
し収集できる		
		薬物療法の実践に関わる
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	7.5-8.5	
○処方設計・処方解析と薬物療法の実践	週間	⇒ルーブリック評価
・患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理や患者の希望)や薬剤の特性に基づき、適切な処方を立案できる		チーム医療に関わる項目
・共同薬物治療管理(CDTM)、プロトコールに基づく薬物治療管理(PBPM)、クリニカルパスを体験できる		⇒実習日報
・薬物動態学的な観点から処方設計と薬物療法の実践できる		
・rusicをフいた肛門状的で打刀ことができる。栄剤目生拍导の内合を記述できる。		
	○医療人としての心構えを理解する ○医療強制におけるチーム医療の役割を体験し、理解する ○薬物療法におけるサーム医療の役割を体験し、理解する ○薬物療法におけるリーダーシップを発揮できる ○病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ○人成から退院に至るまで入院患者との医療の関わりを理解する ○人の服分外用環調剤 ・処方監査から計数及び計量調剤を体験する なかでも、処方監査、疑義照会、外来の場合は患者応対・服薬説明を重点的に行う ○注射薬調剤 ・・注射処方(がん化学療法、TPN含む)に従って処方監査(プロトコール、レジメン、分量、投与速度や投与ルートも含む)から注射調剤(無菌調製を含む)までを体験する ○ 逮切な医薬品の供給と管理を実践する 「病院内の多様な医療チームの活動に薬剤師の立場で参加し、医師、看護師、その他メディカルスタッフと連携・協力し患者の治療目標や治療法を考え、治療に積極的に参加する ○ 疾患と薬物療法 ・代表的な疾患(がん、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、感染症等)について、患者の病態生理、薬物治療方針を理解する ○ 患者情報の心腫 ・種々の情報源(患者面接(持参薬や服薬コンプライアンス)、カルテ、カンファレンス)から、薬物療法の立案と評価に必要な患者情報を、倫理的観点からも配慮し収集できる ○ 医療情報及び医薬品関連情報の活用(情報の収集、吟味、加工)・クリニカルクエスチョン(CQ)を見つけ、CQに関する情報を診療カイドラインや適切な三次資料に基づき EBM STEPsの考えを用い、解決できる ○ 処方設計・処方解析と薬物療法の実践 ・患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理や患者の希望)や薬剤の特性に基づき、適切な処方を立案できる・共同薬物治療管理(CDTM)、プロトコールに基づく実物治療管理(PBPM)、クリニカルリに文を体験できる	○医療機能におけるチーム医療の役割を検験し、理解する ・ 選出 ・ 受額を全管理(リスクマネシメント)を理解する ・ 実施法における素剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ・ の素院における素剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ・ の素院における素剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ・ の素における素剤部門の位置づけと業務の流れを理解する ・ の表験主義の制能管理を理解する ・ の表験主義の制能管理を理解する ・ の表験主動の対象が対け豊調剤を体験する なかでも、処方監査、疑義照会、外来の場合は患者の対・服薬説明を重点的に行う ・ と対射薬剤剤 ・ 処方監査から計数及び計量調剤を体験する なかでも、処方監査、疑義照会、外来の場合は患者の対・服薬説明を重点的に行う ・ と対射薬剤剤 ・ 没方監査から計数及び計量調剤を体験する なかでも、処方監査、疑義照会、外来の場合は患者の対・服薬説明を重点的に行う ・ と対射薬剤剤 ・ 注射態力、仿がん化学療法、TPN会む)に従って処方監査(プロトコール、レジメン、分量、投与速度や投与ルートも含む)から注射調剤(無面調製を含む)までを体験する ・ 適切な底薬品の供給と管理を実践する ・ 適切の多様な医療チームの活動に薬剤師の立場で参加し、医師、看護師、その他メディカルスタッフと連携・協力し患者の治療目標や治療法を考え、治療に機能的に参加する ・ (水表とと実物療法・(水)、高血圧、糖尿病、脂質異常症、心疾患、脳血管障害、精神神経疾患、感染症等)について、患者の病態生理、薬物治療方針を理解する ・ 患者情報の肥曜 ・ 達々の情報暖(侵者衝慢(付き薬や原薬コンブライアンス)、カルテ、カンファレンス)から、薬物療法の支と評価に必要な患者情報を、衛理的観点からも記慮し収率できる ・ 患者情報の活用(情報の収集、吟味、加工)・クリニカルクエスチョン(CQ)を見つけ、CQに関する情報を診療力イドラインや適切な三次資料に基づき、医BM STEPsの考えを用い、解決できる ・ 処方設計・処方解析と薬剤療法の実践 ・ 患者の状態(後表、亜症底)合併法、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理や患者の希望)や薬剤の特性に基づき、適切な処方を立案できる ・ 実物動態学的な観点から処方設計と薬物療法の実践できる ・ 薬物動態学的な観点から処方設計と薬物療法の実践できる ・ 薬物動態学的な観点について、問題解決にむけた初期計画と、入底治療のゴールと返院後も含めた長期的ゴールを立案できる ・ 実物物部学のな観点について、問題解決にむけた初期計画と、入底治療のゴールと返院後も含めた長期的ゴールを立案できる ・ 電床の海(チェルス・環期回じカンファレンス)で患者及び医療などのメディカルスタッフに対し、エビデンスに基づいた薬物療法に関する情報を適切に提供・提案できる ・ 電底の場(チェルス・実践・ご参称が表の、関連的に対し、工能を関する情報を適切に提供・提案できる ・ 電底の場(チェルス・環期の・ の表表を表表を表表を表表を表表が表えましましましましましましましましましましましましましましましましましましまし

学生氏名 \_\_\_\_\_\_

## 2024年度 薬局実務実習の成績 (総括評価)

【評価基準】	1: 8	や不十	一分	2:到達した 3:十分に到達した			
(1) 薬学臨床の基礎		評価		(4) チーム医療への参画		評価	ĺ
②臨床における心構え		2	3	①医療機関におけるチーム医療	1	2	3
③臨床実習の基礎				②地域におけるチーム医療	1	4	
*①は早期臨床体験のため、除外してい	ます。	•		*①に関しては、評価は任意の項目です	•		-
(2) 処方せんに基づく調剤		評価					
①法令・規則等の理解と遵守				(5)地域の保健・医療・福祉への参画		評価	
②処方せんと疑義照会				①在宅(訪問)医療・介護への参画			
③処方せんに基づく医薬品の調製				②地域保健への参画 (公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)			
④患者・来局者応対、服薬指導、 患者教育	1	2	3	③プライマリケア、セルフメディケー ションの実践	1	2	3
⑤医薬品の供給と管理				④災害時医療と薬剤師			
⑥安全管理							
(3) 薬物療法の実践		評価		総括評価 (※)			
①患者情報の把握				1:不十分 2:可 3:良 4:優 5:秀			
②医薬品情報の収集と活用							
③処方設計と薬物療法の実践 (処方設計と提案) ④処方設計と薬物療法の実践 (薬物療法における効果と副作用の評価	1 fi)	2	3	患者およびスタッフに対する接し方などを含む 評価を記入してください。	めた糸	8合的	な
		•		<del>-</del>			
				年 月 日			
	薬局名			Т Д Н			
	<b>₹/11/1</b> 1						\
		1	指導	薬剤師名	(	即	)
【指導者からのコメント】(実	習態度	:積極	性、	誠実性、マナーなどを含む)			

## 2024年度 病院実務実習の成績 (総括評価)

学籍番号				学生氏名					
【評価基準】 1:やや不十				2:	到達した 3:十分に到達した				
 (1)薬学臨床の基	<b></b>		評価		(4) チーム医療への参画		評価		
			н і іш		①医療機関におけるチーム医療		рі іш		
②臨床実習の基礎	~	1	2	3	②地域におけるチーム医療	1	2	3	
★①は早期臨床体験のた					②地域におけるケーム医療				
(2) 処方せんに基	まづく調剤		評価		(5)地域の保健・医療・福祉への参画		評価		
	, ., .				①在宅(訪問)医療・介護への参画				
②処方せんと疑義照					②地域保健への参画 (公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)	4	0	۱ ۵	
③処方せんに基づく	医薬品の調製	_			③プライマリケア、セルフメディケー ションの実践	$1 \mid 2$	2	3	
④患者・来局者応対 患者教育	、服薬指導、	1	1 2 3	3	④災害時医療と薬剤師			Ì	
⑤医薬品の供給と管理					*①②③に関しては、評価は任意の項目です				
(3)薬物療法の多	<b>実践</b>		評価		総括評価(※)				
①患者情報の把握					1:不十分 2:可 3:良 4:優 5:秀				
②医薬品情報の収集	と活用				(※)習得した知識、技能に加え、実習に対して取	組む	姿勢、		
③処方設計と薬物療	法の実践	1	2	3	患者およびスタッフに対する接し方などを含む 評価を記入してください。	めた	総合的	な	
(処方設計と提案) ④処方設計と薬物療	法の実践								
(薬物療法における効果									
					年 月 日				
	病院名	1							
	指	導導	逐剤師	名			(印		
								/	
【指導者からのコン	メント】(実習態	隻:	<b>漬極</b> М	生、訪	(実性、マナーなどを含む)				

## 連絡会(事前訪問) 報告書

# 薬局実務実習 実習施設訪問用チェックリスト(兼)報告書

	口連絡会参加	口不参加		
	施設側 面談•担当者氏名		□指	<b>省</b> 導薬剤師
	※連絡会に不参加の場合は、P4「●実	※務実習連絡会に来なか <sup>・</sup>	った場合の対応」に記載	えしてください。
•	指導薬剤師×学生×担当教員(3 者によ	る面談		
実	習前の確認			
>	「実習の手引き」に沿って確認		□確認済み	
実	習スケジュール全体の確認 通常の実習時間	開始時間( :	)終了時間( :	)
>	休日の曜日	□土•日曜日	口その他(	曜日)
>	原則1週5日、1日8時間が守られそ		口問題なし	口問題あり
>		□公共交通機関	口自動車	□自転車
		口その他(		)
		自動車等の場合、駐車	⅓の確認 □	
>	実習施設までの通学時間	片道 時間	分	
>	実習中の学生の住居	口自宅 口下	宿先(一人暮し)	口その他
			(	)
指	導体制の確認 (可能な範囲で)			
>	指導薬剤師の施設の在勤時間	□毎日(週5) □週	월 4~3 日 □週 1~	∕2 日
>	実習施設の薬剤師数	(常勤 人)	事務職員(常勤	人)
<b>学</b>	生の体調・メンタル等の確認			
<u></u> →	学生の実習に対する不安等		口問題なし	□問題あり
<b>_</b> [	コメント記入			
[	た 道 英文 原 ト ク コ ン ュ ー ケ ・ シ ュ ン の や	<u></u> ÷¬	 □問題なし	□問題あり
>	指導薬剤師とのコミュニケーションの樹 コメント記入	<u> </u>	□回返み∪	
Į				
実	習全般の確認			
>	指導薬剤師から実習全般に関しての質問	]	□なし	□あり
	コメント記入			
	指導薬剤師から大学側への要望事項(事	制教育、訪問、事務手	≦続きなど) □なし	□めり
	コメント記入			

連絡事項			
<ul><li>学生に関する事項(健康、メンタルなり)</li></ul>	<u>など)                                    </u>	ロなし	□あり
コメント記入			
出欠・遅刻等の連絡方法について確認			
▶ 実習初日までに実習スケジュールを V			
➤ 初回訪問日(実習開始第 週~第 Note State on の 東路東羽東藤計画書			
<ul><li>WebSystem の実務実習実施計画書</li></ul>	(0) 美音旭設の概要に	- フいて記戦 ひてはし	/U 1
実習直前の施設訪問			
	□必要	□不要	
● 実務実習連絡会に来なかった場合	の対応		
		4.四小能麻然去如伊	ナフ
▶ 担当教員は、担当学生と2者面談を	(夫肔し、学生の学修)		9 る。 『施済み
▶ 担当教員から実習施設に対し、事前	i訪問の有無等につい <sup>っ</sup>	— <i>-</i>	4.00.0
メールで連絡を行う。 口実施済み			<b>O V</b> 10.
事前施設訪問の有無			
◆ 学生と教員で事前施設訪問を実	:施。訪問日 月 E	∃(): ~	:
◆ 学生のみ事前施設訪問を実施。	訪問日 月 E	∃(): ~	:
◆ その他(			)
【注意事項】			
* 学修状況や態度等で不安のある等	学生は、学生のみの事	前訪問を避け、担当	的教員同伴で
施設訪問を行ってください。			
* 学生のみで事前訪問を実施する場	場合は、学生自ら施設	に電話をさせ、	
アポイントメントを取るよう指	導してください。		
* 事前施設訪問の時期は、以下の期	期間とする。		
Ⅰ期:~2/18, Ⅱ期:5/6~5			
* 事前施設訪問について何かわから	らないことがあれば、	臨床センターにお尋	昂ねください。
担当薬剤師からのコメント			
問題の有無( なし ・ あり )			
(問題ありの場合はその内容と、対応について具体的	かに記入し、臨床薬学教育研究	センターへも報告をお願い	いたします。)

## 第1回目 訪問報告書(実習第 1週~第 2週)

## 薬局実務実習 実習施設訪問用チェックリスト (兼) 報告書

	訪問日	月	⊟(	曜日)	時	分~	時	分
	施設側面談者氏名						_ □指導	鄭剤師
•	<b>面談前の確認</b> (訪問前)							
>	WebSystem に実務実習実施	計画書の	(8) 実習旅	1設の概要か	記載され 口問題な		□未→□依	<b>た高</b> 文
>	Web System に実習スケジュ	ュールがu	pされてい	る	口問題な		□★→□⅓ □未→□⅓	
$\triangleright$	日報の記載の有無				□問題な	:し ロ	未記載あ	り
$\triangleright$	日報への指導薬剤師のコメン	トの記載			口問題な	:し ロ	未記載あ	り
$\triangleright$	到達度評価を確認する				□問題な		未記載あ	-
	学生の一週間振り返りを自ら	確認、可能	能な限りコン	メントしてい			口未記	載あり
	出欠・遅刻等の連絡	<b>—</b>	- \	10 o II o		遅刻等な		
			・遅刻等あ ************************************				連絡あり	
	→欠席の場合、大学に「欠席 参加証明書」を併せて提出る		が承認した	別域で 割り	場合「別明	00进行云/	/ セミノ・	<del>-</del> ₹
<b>≠</b> ≥	参加証明書」を併せて提出で    習関連書類の確認	2 G ذ						
>	<u> </u>	<b>建</b> 粗污镁日	3 「液信田集	対答」を渡る	at ⊓∜d	(点済み)	□次回	方門時
	→担当教員には、指導薬剤師				-		_ ,	מחרחומ
	担当教員用評価記録と共に			3,21,0,0,0		/	15,75	
				0,70,0	3 2/27 /30/1-1-	- 112 5 0		
	学生×担当教員 2者による	面談						
実	習のスケジュール等 全体の確	部						
	実務実習スケジュールを確認			•	題なし		題あり	
>	実務実習スケジュール進捗状	況			題なし	口大	幅遅れあ	<u>り</u>
	コメント記入							
<b>⊳</b>	 関連法令や守秘義務・個人情	 報等の遵 <sup>5</sup>	 六		 別題なし		 題あり	
		11X 3 - 2 X 2 .	_		5,2 0.0	3	,	
	生の体調・メンタル等の確認						FF 10	
<b>&gt;</b>	健康状態・一人で抱えている		m.		題なし		題あり	
<b>&gt;</b>	指導薬剤師の先生に対する不 指導薬剤師以外の先生とのコ				別題なし 別題なし		題あり 題あり	
> 		<u> </u>	ーション		退因なし		超めり	
日幸	報・指導状況の確認							
	日報記載の場所	<del></del>		_	€習施設 8855.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.	自		
>	日報記載内容に関して疑問点	など			題なし		題あり	
	コメント記入							
l								
他在	の実習生の確認							
>	<u>- アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	か	口いない	□いる	る(口本学	学生	口他大学	)
	他の実習生がいる場合、そ				□良好	_	口問題あ	
	コメント記入							

## ●指導薬剤師×担当教員 2者による面談

学:	生の実習時の様子			
>	出欠・遅刻等の確認	□欠席・遅刻なし	」 □欠席	• 遅刻あり
	(報告との整合性、欠席届の状況など、コン	メント:		)
$\triangleright$	挨拶・連絡・報告などの基本的な実習態度	口良い	□普通	□悪い
$\triangleright$	積極的に質問する、自ら調べるなどの態度	口良い	□普通	□悪い
$\triangleright$	関連法令や守秘義務等の遵守	口問題なし	口問題あり	
>	学生のメンタル、モチベーション	口問題なし	口問題あり	
	コメント記入			
実	習のスケジュール全体の確認			
>	実務実習スケジュール進捗状況	□問題な	まし 口大幅:	遅れあり
$\triangleright$	自施設で実施が難しい項目の対応を確認( <b>施設</b> 権	<b>既要より</b> ) □項目な	こし 口項目	あり
	実施困難な項目(〇をつける):かかりつけ薬剤	師・薬局の機能、	在宅医療業務実施	<b></b>
	学校薬剤師業務実施、地域活動(災害医療、調	忍知症サポート、t	也域健康フェアな	ど)、OTC薬
	(対応:			)
	原則1週5日、1日8時間が守られているか	□問題な	まし 口問題	あり
_				
	指導薬剤師×学生×担当教員 3者による面談			
_	習のスケジュール全体の確認			
		合、現状確認と今後	後の予定確認 口	
	日報に関して、確認 口			
	(書き漏れている場合は記載を指導、指導薬剤的		は、指導薬剤師へ	依頼、
	または指導薬剤師の指示のもと学生による記載を			
	学生のモチベーション、メンタル面、態度に関し	」て、確認 □		
\ <del>_</del> .	₩ <del>= -</del> -			
>	中間報告会(月日)日程連絡日	+ (=\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		
	次回訪問日(第 10 週~第 11 週)の打ち合わせ	で(可能な軋曲で)		
扫	当薬剤師からのコメント			
_				
	問題の有無( なし • あり ) 問題ありの場合はその内容と、対応について具体的に記入し、臨床	F	へ去報告をお願いいた	ı.≢a )
		N来于 秋日 明 パ ピン ク		089.7
-				
-				
-				
_				
_				
1				

## 中間報告会 報告書(実習第6週)

# 薬局実務実習 中間報告会用チェックリスト(兼)報告書

	□中間報告会参加						
	口訪問 訪問日: 月	⊟ (	曜日)	時	分~	時	分
	施設側面談者氏名	_ `	/	-3	,5	_	· [漢] [薬剤師
							אייייני
	<b>面談前の確認</b> (面談前)						
>	日報の記載の有無		口問	題なし	口未記	載あり	
۶	日報への指導薬剤師のコメント記載の有無				口未記		
<b>&gt;</b>	到達度評価を確認する				口半分		記載
>	学生の一週間振り返りを自ら確認、可能な関	限りコメン					記載あり
>	出欠・遅刻等の連絡	X 3 — 7 2	1000		- 300 第・遅刻等		J-17(0) J
		5 • 遅刻等;	ありの場合		各なし		名あり
	,,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				_ /	
•	学生×担当教員 2者による面談						
	習のスケジュール全体の確認						
>	実務実習スケジュール進捗状況			題なし	口大幅	遅れあり	)
	コメント記入						
学:	生の体調・メンタル等の確認						
>			□問	題なし	□問題	あり	
>	指導薬剤師の先生に対する不安等			題なし	□問題		
>	指導薬剤師以外の先生とのコミュニケーショ	ョン		題なし	□問題		
	コメント記入						
	報・指導状況の確認						
>	 日報記載内容に関して疑問点など			題なし	□問題	あり	
連	絡事項						
>		該当なし		題なし	□問題	あり	
>	次回訪問日(第 10 週~第 11 週)の連絡						
lacktriangle	(訪問の場合) 指導薬剤師×担当教員 2 i	者による配	可談				
>	実習の進捗状況、学生の態度、メンタル面に	こついて確	一心	□問題	質なし	□問題	質あり
	コメント記入						
担:	当薬剤師からのコメント						
먇	  題の有無( なし • あり )						
	問題ありの場合はその内容と、対応について具体的に記入し	し、臨床薬学	教育研究セン	/ターへも報告	きをお願いいた	こします。)	
<u> </u>							
-							

## 第2回目 訪問報告書(実習第10週~第11週)

# 薬局実務実習 実習施設訪問用チェックリスト(兼)報告書

	訪問日	月		(	曜日)	時	分~	時	分
	施設側面談者氏名						🖂	指導薬剤	師
Α Α	<b>面談前の確認</b> (訪問前) WebSystem に実務実習実 Web System に実習スケシ				ロ る ロ	問題なし 問題なし	□未- □未-	→□依頼	
A A A A A	日報の記載の有無 日報への指導薬剤師のコメ 到達度評価を確認する 学生の一週間の振り返りを 出欠・遅刻等の連絡		可能な阿			口久	□未記 □1/3 問題なし Z席・遅刻	記載あり 3 以上未 口未記載  等なし	域あり
実	学生×担当教員 2者による 習のスケジュール全体の確認 実務実習スケジュール進捗 主の体調・メンタル等の確認	           				問題なし	口大帅	畐遅れあ	り
<u> </u>		等				問題なし 問題なし		質あり 質あり	
学 <u>学</u>	指導薬剤師×担当教員 2 を 主の実習時の様子 出欠・遅刻等の確認 (報告との整合性、欠 挨拶・連絡・報告などの基本 積極的に質問する、自ら調ク 関連法令や守秘義務等の遵	席届の状況 本的な実習態 べるなどの創	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	: لا ت ] ]	コ欠席・遅 ソト: コ良い コ良い コ問題なし	□普通□普通	□悪い		あり
実施を担じている。	実習で、到達度の低い項目 自施設で実施が難しい項目 かかりつ	については、 の達成度を け薬剤師・ (災害医療、	、指導導 確認( <b>加</b> 薬局の 、認知知	薬剤的 <b>施設材</b> 幾能、 定サ7	雨に到達度 <b>既要より</b> ) 在宅医療 パート、地	口問題な 業務実施、 域健康フェ	算を依頼す へ □問 学校薬剤 でなど)、	る。 題あり I師業務身 OTC 事	菜
_									-

## 連絡会(事前訪問) 報告書

# 病院実務実習 実習施設訪問用チェックリスト(兼)報告書

	□連絡会参加	口不参加			
	施設側 面談•担当者氏名				口指導薬剤師
	※連絡会に不参加の場合は、P4「●	実務実習連絡	会に来なかっ	た場合の対応」に	記載してください。
•	指導薬剤師×学生×担当教員 3者に	よる面談			
実	習前の確認				
>	「実習の手引き」に沿って確認			口確認済み	
実	<b>習スケジュール全体の確認</b>				
>	通常の実習時間		: )		
<b>&gt;</b>	休日の曜日 原則1週5日、1日8時間が守られる	□土・日曜 そうか		口その他( 口問題なし	曜日) 口問題あり
<b>&gt;</b>		こうが ロ公共交通	機関	日间越なり	□回趨めり
	3 2 3 7 (2),000 (1) (2)	口その他(			)
				場の確認□	
<b>&gt;</b>	実習施設までの通学時間 実習中の学生の住居	片道 □自宅	時間	分 宿先(一人暮し)	口その他
	大日中の子工の圧石		L 111		( ا
11-2					
指導	導体制の確認(可能な範囲で) 実習施設の薬剤師数	(常勤	人)	事務職員(常	勤人)
	大日ルの文の大学は日本文	使到	<i>X</i> )	争约城关 (市	動
	生の体調・メンタル等の確認				
	<u>学生の実習に対する不安等</u> □メント記入			□問題なし	<u>□問題あり</u>
L					
г	<u> 指導薬剤師とのコミュニケーションの</u> コメント記入	様子		□問題なし	□問題あり
Ĺ					
宝?	当全般の確認				
>	ョエルマットに関しての質 指導薬剤師から実習全般に関しての質	問		ロなし	□あり
	コメント記入				
>	指導薬剤師から大学側への要望事項(	事前教育、訪	問、事務手	続きなど) 口な	し 口あり
	コメント記入				

連絡						
_	生に関する事項(健康、メンタルなど)			ロなし		□あり
	メント記入					
> ∃	3欠・遅刻等の連絡方法について確認 □					
<b>》</b>	ミ習初日までに実習スケジュールを Web Sys	stem IZ up	してほし	// □		
		の打ち合れ				
> V	VebSystem の実務実習実施計画書(8)実習	3施設の概要	を について	て記載して	ましい	
実習画	直前の施設訪問					
<b>》</b>	『習直前の施設訪問の有無	口必要		□不要		
> <u>‡</u>	登務実習連絡会に来なかった場合の対応 日当教員は、担当学生と2者面談を実施し、 日当教員から実習施設に対し、事前訪問ので	学生の学			□実施	斉み
	<ul><li>〈ールで連絡を行う。 □実施済み</li><li>■前施設訪問の有無</li><li>▶ 学生と教員で事前施設訪問を実施。訪問</li><li>▶ 学生のみ事前施設訪問を実施。 訪問</li><li>▶ その他(</li><li>計意事項】</li></ul>			) :	~ ~	: : : )
		出生のユの	<del>古</del> ं=≿□	目左位1十二	ᅡᄆᆚᅶᅔᄼ	5000
*	学修状況や態度等で不安のある学生は、 施設訪問を行ってください。	±±∪₯∪	<del>J</del> BUōUla	可で <b>延り、</b> :	四一	) tink
*	学生のみで事前訪問を実施する場合は、	学生自ら施	設に電話	話をさせ、		
	アポイントメントを取るよう指導して	ください。				
*	事前施設訪問の時期は、以下の期間とす	る。				
	Ⅰ期:~2/18, Ⅱ期:5/6~5/19,	-	5~8/1	8, Ⅳ期:	11/4	.~11/1
*	事前施設訪問について何かわからないこ	とがあれば	、 臨床+	フンターに:	お尋ね	ください

## 担当薬剤師からのコメント

問題の有無( なし ・ あり ) (問題ありの場合はその内容と、対応について具体的に記入し、臨床薬学教育研究センターへも報告をお願いいたします。)

## 第1回目 訪問報告書(実習第 1週~第 2週)

## 病院実務実習 実習施設訪問用チェックリスト (兼)報告書

	訪問日	月	⊟ (	曜日)	時	分~	時 分
	施設側面談者氏名						_ 口指導薬剤師
•							
	<b>面談前の確認</b> (訪問前) WebSystem に実務実習実施語	は両書の	(0) 宝羽饰到	の畑亜カ	でサイン	アハス	
	Webdystellic美扬美百美加。	一回音り	(0) 关白心动	207城安刀			未→□依頼済
>	Web System に実習スケジュ	ールがぃ	ın されている				未→□依頼済
>	日報の記載の有無	7075					未記載あり
>	日報への指導薬剤師のコメント	~の記載					未記載あり
>	到達度評価を確認する				□問題な	こ ロ	未記載あり
>	学生の一週間振り返りを自ら研	在認、可	能な限りコメン	ノトしてい	る口間	題なし	口未記載あり
$\triangleright$	出欠・遅刻等の連絡				□欠席•	遅刻等な	:U
			・遅刻等あり	-			
	→欠席の場合、大学に「欠席局		どが承認した就	職活動の	場合「就」	職選考会/	/セミナー等
	参加証明書」を併せて提出さ	せる。					
	習関連書類の確認 - 42以ば5月からお送せずばなる書	. W. T. N. T. N. T. F.	D 555	∕r . <del>-/-</del> \c'r-	<del>-</del>		
	担当教員から指導薬剤師に書						
	→担当教員には、指導薬剤師な						同ひり
	担当教員用評価記録と共に関	ETT CAL	(いるため、こ	_11で抽象	子栄剤師に	-	
	学生×担当教員 2者による面	i談					
実	習のスケジュール等 全体の確認	忍心					
>	実務実習スケジュールを確認で	ー ごきるか			問題なし	□問	題あり
$\triangleright$	実務実習スケジュール進捗状況	<del>7</del>			問題なし	口大	幅遅れあり
	コメント記入						
							187 <b>-</b> 10
	関連法令や守秘義務・個人情報	は等の遵	<u>고</u>		問題なし		題あり
学:	主の体調・メンタル等の確認						
>	健康状態・一人で抱えているる	下安等			題なし	□問	題あり
$\triangleright$	指導薬剤師の先生に対する不安	安等の有	無		題なし	□問	題あり
>	指導薬剤師以外の先生とのコミ	ミュニケ	ーション		題なし	□問	題あり
	コメント記入						
日幸	報・指導状況の確認						
>	 日報記載の場所			口事	€習施設	□自	宅
>	日報記載内容に関して疑問点な	えど			題なし	□問	題あり
	コメント記入						
441	の主羽牛の破割						
⊬ IΠ(	D実習生の確認 - 同施設内に他の実習生がいるだ	n)	□いない		3(口本学	6学生	口他大学
	他の実習生がいる場合、その				2 (山本字 口良妇	_	口問題あり
	コメント記入	ノナエし	ススタミニのアンス	,		<u> </u>	ロロルベグ・ブ

## ●指導薬剤師×担当教員 2者による面談

学:	生の実習時の様子				
>	出欠・遅刻等の確認	□欠席・遅刻なし	<i>)</i>	□欠席・	遅刻あり
	(報告との整合性、欠席届の状況など、コン	メント:			)
$\triangleright$	挨拶・連絡・報告などの基本的な実習態度	口良い	口普通		□悪い
$\triangleright$	積極的に質問する、自ら調べるなどの態度	口良い	口普通		□悪い
$\triangleright$	関連法令や守秘義務等の遵守	□問題なし	口問題を	50	
>	学生のメンタル、モチベーション	口問題なし	□問題を	50	
	コメント記入				
実	習のスケジュール全体の確認				
>		□問題な	えし	口大幅週	<b>柔れあり</b>
$\triangleright$	自施設で実施が難しい項目の対応を確認(施設権				
	実施困難な項目(○をつける):地域連携(地域	の他の薬局医療機	(関等)、(	災害時医療	療、がん化学療法
	(レジメン・抗力	がん剤調製など)、	その他:		
	(対応:				)
	原則1週5日、1日8時間が守られているか	□問題な	ひを	□問題あ	50
_	指導薬剤師×学生×担当教員 3者による面談 図のスケジュール全体の確認 大幅な遅れなどがあるかを確認 □ →ある場合 日報に関して、確認 □ (書き漏れている場合は記載を指導、指導薬剤的 または <u>指導薬剤師の指示のもと学生による記載</u> を 学生のモチベーション、メンタル面、態度に関し	雨のコメント漏れに を依頼)			<b>灭頼、</b>
連	絡事項				
>	中間報告会( 月 日) 日程連絡 □				
>	次回訪問日(第 10 週~第 11 週)の打ち合わせ	せ(可能な範囲で)			
担	当薬剤師からのコメント				
	題の有無 ( なし ・ あり )				
	問題ありの場合はその内容と、対応について具体的に記入し、臨床	・薬学教育研究センター	へも報告をお	3願いいたし	·ます。) 
-					
_					
_					
_					

## 中間報告会 報告書(実習第6週)

# 病院実務実習 中間報告会用チェックリスト(兼)報告書

	口中間報台	告会参加							
	口訪問	訪問日:	月	⊟ (	曜日)	時	分~	時	分
	施設側面談者	氏名						口指導	真薬剤師
<b>-</b>	三山子 不协家 (天	-= <sub>11</sub> , <del>\</del>							
	<b>面談前の確認</b> (面				<b>□ 89</b> 9	5/21	口土記	#*ない	
<b>\</b>	日報の記載の有意		⋾≢の方	<del>ли</del>		なし			
>	日報への指導薬		こ記載の行	無		なし			<del>: 1 ±+</del> □
>	到達度評価を確	5·5· 2	#=₹I =T4K	たののつい		なし		以上未記	
	学生の一週間振		E誌、 山形	な限りコメ.	クトしている				記載あり
	出欠・遅刻等の	<b>建給</b>	,		ちいの担合		席・遅刻等 ஜな↓		2 to
			٥	火席• 崖刻寺	ありの場合	□浬i	治なし	口連和	合めり
•	●学生×担当教員 2者による面談								
実	習のスケジュール	全体の確認							
>	実務実習スケジ	ュール進捗状況	7		□問題	なし	口大幅	遅れあり	)
	コメント記入								
学:	<u></u> 生の体調・メンタ	ル等の確認							
> >	健康状態・一人	<u>_</u>	K <del>安</del> 等		□問題	すなし、	□問題	あり	
>	指導薬剤師の先		_						
>	指導薬剤師以外		_	<i>&gt;</i> /∃ <i>&gt;</i> /					
	コメント記入	<u> </u>				<u> </u>		ילי לאו	
	日報・指導状況の確認								
	日報記載内容に	関して疑問点な	えど		□問題	なし	□問題	あり	
連絡	洛事項								
<u>~</u>	就職活動状況			口該当なし	□問題	なし	□問題	あり	
>	次回訪問日(第	10 週~第 11				3.00			
		75 /2 /3 / 1	حر م	,,					
•	(訪問の場合) 指	省導薬剤師×担	当教員	2 者による	面談				
	実習の進捗状況	、学生の態度、	メンタル	面について	確認	□問題		なし 口問題あり	
	コメント記入								
問題の有無( なし ・ あり )									
回避り  同無									
_									
_									

## 第2回目 訪問報告書(実習第10週~第11週)

## 病院実務実習 実習施設訪問用チェックリスト(兼)報告書

	訪問日	月	⊟ (	曜日)	時	分~	時	分
	施設側面談者氏名						指導薬剤	心命
•i	<b>面談前の確認</b> (訪問前) WebSystem に実務実習実)	施計画書の(	(8) 実習	施設の概要	見が記載され	にいる		
A A A A A A	Web System に実習スケジ日報の記載の有無日報への指導薬剤師のコメン到達度評価を確認する学生の一週間の振り返りを設めて、遅刻等の連絡	ントの記載の	有無「能な限り	Nる [ ] [ ] ]コメントし	している口間	□未- □未記 □1/ 問題なし マ席・遅刻	記載あり 記載あり 3 以上未 口未記載  等なし	済 記載 載あり
実学。	薬剤師の先生とのコミュニグ	犬況 等 アーション			]問題なし ]問題なし ]問題なし	□問題	福遅れあ 題あり 題あり	Ŋ
学:	積極的に質問する、自ら調べ	常届の状況な ≤的な実習態 べるなどの態	:ど、コメ 度	□欠席・♪ (ント: □良い □良い □問題なし	□普通 □普通	□悪( □悪(		あり
実	指導薬剤師×学生×担当教員 習進捗度・到達度の記載確認 未実施項目を確認 実習で、到達度の低い項目( 自施設で実施が難しい項目の 実施困難な項目(○をつける)	こついては、 の対応を確認 る): 地域連接	指導薬剤 ( <b>施設想</b> 隽(地域(	師に到達   <b> 要より</b> ) の他の薬局	口項目なし	算を依頼す ノ □項 )、災害時	る。 目あり	がん化学療法
	当薬剤師からのコメント 問題の有無( なし • あ 問題ありの場合はその内容と、対応に	り ) ついて具体的に言	己入し、臨床	薬学教育研究	センターへも報	告をお願いし	ハたします。	,) _ _ _